

科目名称	キャリアデザイン （水3）
授業コード	B0222B
英語名称	Career Design II
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	高野 雅巳
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	昨今の社会情勢の大きな変化の中で、生き方や働き方はますます多様化している。そのような中で、一人一人が自分自身の人生や働き方を主体的にとらえ、能動的にキャリアを形作っていくことが重要になっている。本講義では、内省および他者との対話を通じた自己理解、および業界研究などを通じた他者理解に取り組む。更に、社会で実際に活躍するために必要な社会人としてのマナーを身につけることも目標の一つとする。授業では、講義によるインプットだけでなく、個人ワークやグループワーク、ペアワークを通じた能動的に考え・学ぶ機会も提供し、キャリアデザインに対する理解を深めて行く。 また、本講義は就職活動に向けた事前準備の位置付けとして、「エントリーシートの作成方法」「ビジネスコミュニケーション」「業界・職業理解」など、実践で活用できる講義内容を含んでいる。なお「適正検査対策（SPIドリル*）」も扱う予定としており、実施する場合は講義の中で進め方についての説明を実施するとともに、学習進捗は適宜確認を行い成績へも加味する予定。
科目に関連する実務経験と授業への活用	担当講師 高野雅巳は、大手旅行会社グループで管理職として部下とのキャリア相談、社員教育、新卒採用面接官の経験を持つ。現職の専門学校では、キャリア系科目やビジネス教養科目の講義を担当、また学生の個別相談、キャリア・就活支援（エントリーシートの添削、面接対策）を行っている。他校の私立大学では、社会で活躍するために必要なホスピタリティ分野やサービスコミュニケーション分野の講義も担当している。 これらの経験を活かし、自らのキャリアを主体的にデザインしてスキルを身に付けるためのワークを実施する。また、自身の描く未来を手に入れるために、実践的な視点から必要な心構えや準備の必要性を講義する。
到達目標	建学の精神に基づき、高度な専門的知識と実践的な問題解決能力を備え、倫理的な判断力を有した社会で活躍し続ける人材を育成することを目的とする。 （１）キャリアを自ら考え主体的に行動する力を身につける。 （２）ビジネスキャリアの形成において必要な要素を理解する。
計画・内容	第1回 オリエンテーション（講師紹介、授業概要、今後の進め方、評価方法など） 第2回 キャリアデザインとは何か（現代のキャリアを取り巻く環境、必要性和意義） 第3回 働くとは（ライフキャリアとビジネスキャリア） 第4回 職業選択の考え方（職業選択・企業選び） 第5回 仕事理解（組織への適応、コミュニケーション能力） 第6回 仕事理解（求められる資質・能力、職種特有スキルとポータブルスキル） 第7回 仕事理解（リーダーシップ、ホスピタリティ）

計画・内容	第8回 自己理解（自分の得意・強みを知る、過去の振り返りと言語化） 第9回 自己理解（自己分析と他己分析） 第10回 自己理解（将来のキャリアプランを言語化、バックキャストイング、他者理解） 第11回 就職活動（就職活動の進め方や必要な準備、業界・企業研究） 第12回 インターンシップ・採用選考の準備（エントリーシート・履歴書、PRシート・動画、面接） 第13回 インターンシップ・採用選考の準備（エントリーシート・履歴書、PRシート・動画、面接） 第14回 社会人としてのマナー・一般常識（人間関係、姿勢、態度、身だしなみ、言葉遣い） 第15回 キャリアデザイン の総括と振り返り（講義のまとめと最終レポート） 「適正検査対策（SPIドリル*）」を扱う予定としており、実施する場合は講義の中で進め方についての説明を実施するとともに、学習進捗は適宜確認を行い成績へも加味する予定。
授業の進め方	本講義では、講師からのレクチャーに加えて個人ワーク、グループワーク、ペアワークなどを行いながら議論を通じた学びの機会を作る。毎回、講義の最後にコメントシートを提出し、出席確認とともに、講義の感想、質問、気づきなどを記入し振り返りの機会とする。 また、実際に働いている社会人の話（キャリアデザインにおける様々な持論）を聴き、自分自身のキャリアデザインにおける理解や考察につなげられるような機会も予定している。
能動的な学びの実施	・インプットだけでなくアウトプットの時間を多く持つため、積極的な態度での参加が望まれる ・毎回、グループワーク、ペアワークを行い、議論や対話を通じて自己理解・他者理解を深める ・グループでのディスカッション内容を全体に向けて発表する機会がある ・随時、講師から学生への発問や個別の質問を行う ・授業内でも個人で内省する時間を取り、その内容を隣の人と内容をシェアする時間を取るなどする ・グループワーク、ペアワークを通じて、コミュニケーション力（特に聴く力・伝える力）を醸成する
授業時間外の学修	予習復習で60時間相当。授業の振り返りやホームワークなどを実施する。
教科書・参考書	授業時に資料を配布し、教科書は用いない。参考図書は随時示す。SPIドリル（年間利用）の登録料5000円。
成績評価方法と基準	・各回授業ごとのコメントシート（感想、質問を記入） 35% ・グループワーク・ペアワークへの参加状況 25% ・課題レポート 40% 「適正検査対策（SPIドリル*）」を扱う予定としており、実施する場合は成績へ加味する予定（成績への反映方法は講義内で説明予定）。
課題等に対するフィードバック	毎回の授業の最後にコメントシートを配布し、授業の感想・質問を記入して提出する。コメントシートに書かれた内容について、次回授業の冒頭で取り上げ回答する。
オフィスアワー	講義前・講義後に講義室で対応する。（前後10分程度）
留意事項	特になし。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方：非対面となった場合は、Zoomを利用して講義、個人ワーク、グループワークを交えて進める。（Zoomブレイクアウトルームを活用） 成績評価方法と基準：基本的には対面の場合と同様。